

授業 科目名	【G】	情報教育法Ⅱ(2023年度生以前カリキュラム)	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【G・H】	情報科指導法Ⅱ(2024年度生以降カリキュラム)			【G・H】3		【G・H】2	
	【I】	情報科指導法Ⅱ(2024年度生以降カリキュラム)			【I】3		【I】2	
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報) 【G・H】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報) 【I】 教員の免許状取得のための必修科目(-----情報)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブ タイトル	高等学校情報科における実践力の育成				担当者	加納 久子		
授業概要	【概要】	本授業は、教科「情報」の教員免許を取得するための教職必修科目である。「情報科指導法Ⅰ(情報教育法Ⅰ)」および「情報科指導法Ⅱ(情報教育法Ⅱ)」を通じて、高等学校情報科の教員として必要な実践的指導力を養成することを目的とする。情報科の各領域における教材開発やLMSを用いた運用手法を修得し、学習指導案の作成から模擬授業の実施、リフレクションまでの一連の過程を体験する。これらの活動を通じて、理論と実践を往還しつつ、生徒の深い学びを支える効果的な授業設計および授業展開の能力を総合的に構築するものである。						
	【到達目標】	教科「情報」の単元における指導計画および学習指導案を立案する能力を身につけるとともに、学習目標の達成に向けた教材を開発する力を養う。また、模擬授業の実施と振り返りを通して、情報教育における課題を把握し、実践的な指導力を身につけることを目標とする。						
履修条件	①4年次に教育実習へ参加予定であること ②「情報科指導法Ⅰ」または「情報教育法Ⅰ」の単位を修得済みであること ③全回出席を原則とし、遅刻・欠席をしないこと。やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に連絡すること ④授業内の活動に主体的に参加し、円滑なコミュニケーションを図れること ⑤適切なビジネスマナーに基づいたメール文が作成できること							
アクティブ ラーニングの 方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	情報科指導法Ⅰ(情報教育法Ⅰ)、教育実習							
教科書	1) 赤堀侃司ほか(2026)『情報Ⅰ Step Forward!』令和8年度用高等学校教科書 [情I 002-902] 東京書籍 2) 鹿野利春ほか(2022)『情報科教育法：これからの情報科教育』実教出版							
参考書	1) 文部科学省(2019)『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編』開隆館出版 2) 文部科学省『高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材』 3) 文部科学省『高等学校情報科「情報Ⅱ」教員研修用教材』 その他、必要に応じて授業の中で紹介します。							
評価方法	発表および課題を90%、授業への参加態度を10%として評価し、総合的に判定する。							
フィードバック 方法	Google Classroomを使用し、課題のフィードバックを行う。							
評価基準	上記評価方法に従い、参加態度が良好で授業内容について到達目標に達することができた者にはその程度に応じてSまたはAとする。一部不十分な参加態度や到達度がある者については、その程度に応じてBまたはCとする。それらが著しく低い場合には、その程度に応じてDまたはEとする。評価不能の場合はFとする。なお、単位認定にあたっては、課題の提出状況や内容、授業への参加態度に加え、教育者として求められる責任感や倫理観、誠実な取り組み姿勢を十分に備えていることを要件とします。							

授業 科目名	【G】 情報教育法Ⅱ (2023年度生以前カリキュラム)	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【G・H】 情報科指導法Ⅱ (2024年度生以降カリキュラム)			【G・H】3		【G・H】2
科目名	【I】 情報科指導法Ⅱ (2024年度生以降カリキュラム)			【I】3		【I】2
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス、情報教育の環境 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
2	教科書研究: 情報科教科書の比較と分析 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
3	授業実践の設計: 教材開発から学習指導案作成、模擬授業までの全体像 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
4	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」教材開発Ⅰ(授業資料の設計・構成検討) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
5	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」教材開発Ⅱ(授業資料の作成・完成) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
6	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」教材開発Ⅲ(課題の設計と作成) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
7	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」教材開発Ⅳ(LMSへの公開と課題の採点) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
8	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」学習指導案の作成 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
9	「情報社会の問題解決・コミュニケーションと情報デザイン」模擬授業の実施とリフレクション 予習: 模擬授業の準備をする。 復習: 模擬授業の振り返りを行う。					
10	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」教材開発Ⅰ(授業資料の設計・構成検討) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
11	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」教材開発Ⅱ(授業資料の作成・完成) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
12	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」教材開発Ⅲ(課題の設計と作成) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
13	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」教材開発Ⅳ(LMSへの公開と課題の採点) 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
14	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」学習指導案の作成 予習: 授業資料を読み、不明点や疑問点について調べる。 復習: 授業内容を振り返り学修した内容を整理する。					
15	「コンピュータとプログラミング・情報通信ネットワークとデータの活用」模擬授業の実施とリフレクション 予習: 模擬授業の準備をする。 復習: 模擬授業の振り返りを行う。					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安とする。</li> <li>・ 課題は原則として授業時間内に行うこと。</li> <li>・ 履修人数や受講者の理解度および進捗状況に応じて、授業内容や順序を一部変更する場合がある。</li> </ul>					